

## プログラムの例



なかなか触れる機会の少ないバレエ。ダンサーたちの技術や表現を間近で感じられるのは、学校ならではの体験です。こどもたちは、ダンサーがここに至るまでにどんな努力を重ねてきたのか、その過程にも興味を抱くようです。



土粘土を使って、平面に半立体のレリーフをつくります。ここでは作品の完成をめざすのではなく、何度も繰り返しやり直す過程を大切にしており、その積み重ねは、思い切った表現や新たな挑戦を引き出すことにつながります。



音楽家と共に「紙」を使って奏でる体験を通して、音楽をつくったり、聴いたり、演奏したりする楽しみは、自分自身も持っているのだと気づいてもらうプログラム。その場にいるみんなで、音楽を奏でる喜びを味わうこともできます。



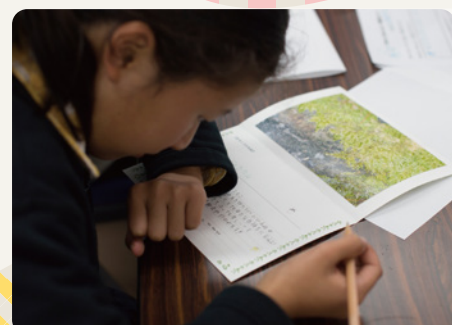
「サクセス」に焦点を当てて深掘りし、日常が音楽で彩られることをめざしたプログラム。楽器の構造や演奏方法、音色に注目したり、楽曲イメージを共有したりすることで、さまざまな音楽の楽しみ方を体験することができます。



インドの伝統的な染色技法である「ブロックプリント」は、スタンプを押す感覚で思いのままに自分の布をデザインできます。また、鑑賞の時間の中で、自分の作品を他者から認められる経験は、こどもたちの心の支えとして残ります。



一見難しそうなおコンテンポラリーダンスですが、間近で鑑賞すると、ダンサーの身体と表現の迫りに圧倒されます。体験では自分や他者の身体感覚を知り、身体と心を解放することで、新たな自分と身体表現の面白さに出会えます。



まちや学校に生えている草を写真に残し、名前や物語をつけるプログラムです。ふだん見慣れている景色でも新たな発見があり、日常を豊かにしてくれます。また作品を通して、こどもたちの意外な一面に出会うこともあります。



## 次世代を担うこどもたちの、生きる力を育むためにぜひご活用ください！

本事業は、単なる芸術鑑賞や体験の機会ではなく、学校とアーティストが一緒に考えるオーダーメイドのプログラムです。こどもたちにとってより良い時間となるように、先生方との打ち合わせを基に内容を検討します。



対象は？

堺市立の小学校・中学校(特別支援学級を含む)、および特別支援学校。

内容は？

申込時のご希望を基に、打ち合わせを経てから決定します。

学校内で希望する先生が複数いても大丈夫？

学年単位でご応募ください。(1校で複数の学年の申込も可能です。)原則1校1学年の実施としますが、全体の応募状況によっては、複数学年での実施が可能となる場合もあります。  
※他の学校との重複やアーティストの都合等により、開催内容や時期は完全にご希望に添えない場合があります。

経費は？

プログラムの実施に係る経費(アーティスト謝礼金・委託料・企画料・材料費等)は、主催者である堺市文化振興財団が負担します。実施施設・設備に係る経費(光熱水費・会場使用料等)は実施校においてご負担ください。

### 実施までの流れ(予定)

日程	内容	財団	学校
4月1日(水)	募集要項配布、受付開始	→	
	応募	←	
~5月8日(金)	募集締切		
~5月末	実施校決定通知	→	
6月~	打ち合わせ	○	○
	実施内容の検討	○	(○)
実施1か月前	実施内容決定	→	
2学期以降	本番・振り返り(30分程度)	○	○

●実施当日は記録撮影をいたします。

【写真】記録されたものは堺市文化振興財団ホームページ、Facebookへの投稿、次年度募集要項への掲載等の用途で使用いたします。撮影不可の個人がいる場合、打ち合わせ時にお申し出ください。

【動画】内部でのアーカイブ・ふりかえり用の記録です。

●実施後は先生用と児童・生徒用のアンケートへの回答をお願いします。(必須)



## 申込にあたって



令和8年度

さかい  
ミーツ  
アート

実施校募集

〈さかいミーツアート〉とは、堺市内の小中学校にアーティストを派遣してコンサートやワークショップを実施する事業です。次世代を担うこどもたちの生きる力を育み、豊かな人生を送ることができるように、文化芸術の側面からこどもたちと向き合います。音楽、美術、ダンス、演劇といったさまざまなジャンルがあり、学校・アーティスト・コーディネーターが連携をとりながら芸術プログラムを作ります。

## 芸術教育コース

質の高い芸術体験の提供を通じて、芸術を  
楽しみ、理解し、または携わるきっかけを提供するコースです。  
その後の長い人生を芸術と共に豊かに送ることができる子どもの  
育成をめざして、芸術家の視点から授業を企画・実施します。

たとえば…



究められた芸術に心が動く



芸術家の豊かな表現や研ぎ澄まされた技術に間近で触れる経験は、心に深い余韻を残すものです。子どもたちと芸術との出会いはより豊かなものとし、その後の日常でも芸術が身近に感じられるような種まきをします。



アーティストと共につくる



アーティストの専門性が反映された素材や画材、発想に触れながら共につくる過程は、子どもたちが新たな視点を得る後押しとなります。その経験を土台とし、自らの創造性や可能性をひらいていくきっかけにもなります。



芸術を通じて世界を知る



自分とは異なる背景を持つ人とも、共に踊ったり、奏でたりすることができます。その土地ならではの芸術文化に触れ、新たな価値観に出会うことで、多様性を豊かさとして受け止めることにもつながります。



日本の伝統に触れる



邦楽、邦舞、能・狂言、落語などの伝統芸能を間近で鑑賞することができます。演者やコーディネーターが、その歴史的背景や演目の内容を細解きながら紹介することで、伝統芸能の魅力や楽しみ方を知ることができます。

こどもの声



きれいなおどりをみて、心がぼかぼかした。/今まで知らなかった芸術に触れて、世界にはいろいろな表現があると気づいた。/アーティストがサポートしてくれて、想像が広がった。/伝統芸能ってこんなに面白かったんだ!

先生の声



芸術家の技に触れ、驚きと喜びを感じ、豊かな表現方法を知ることができました。/楽しみながら外国の文化に触れることができました。/ふだんは自由な制作が難しい児童でも、発想を膨らませていく様子が見られました。

## コミュニケーションコース

子どもたちの自主性、協働性、自己肯定感、  
想像力といった生きるうえで大切な力を手にするきっかけを、  
芸術を通じて提供するコースです。子どもたちの日頃の様子や先生方の  
希望を基に、芸術家と連携して授業を企画・実施します。

たとえば…



音楽ワークショップ



楽譜が読めなくても、楽器が弾けなくても、その場にいるみんなで演奏をしたり、曲を作ったりすることができます。音楽の美しさや共に演奏をする喜びを共有することで、新たな関係性が結ばれるきっかけとなります。



美術ワークショップ



自分のアイデアを作品に落とし込んでいく過程は、自分自身と向き合う時間となり、表現として作品にあらわれます。また、知らず知らずのうちに影響しあいながら、ゆるやかな協働が生まれることもあります。



身体表現ワークショップ



さまざまな背景をもつ子どもたちが、自分の気持ちをのびのびと表現し、また他者の表現を尊重することを、ダンスや演劇など身体芸術の視点から組み立てられたワークを通して経験できることをめざします。

芸術やアーティストが学校に入り込むことで、子どもたちの考え方や世界の見え方が変わることがあります。また、先生方にとって、意外な子どもたちの姿が見られることも。



先生の声



意見の聞きあいが自然に発生し、芸術を通じて自主的に協働する姿が見られた。/自由に表現することを通して、自尊感情が高まったようだ。/恥ずかしがって自己表現できなかった子が、のびのび身体を動かしていた。

こどもの声



間違いが無いことで、安心していろいろな表現ができた。/自分の身体で表現することも、みんなの表現も楽しくて夢中になった。/みんなで団結できたのが嬉しかった。/失敗をしてもそれが逆に個性になるところが良かった。

## 授業アシストコース

学校の授業における学びを芸術によって  
アシストするコースです。「学習のねらい」や「めあて」を基に  
先生方と相談の上、芸術家と連携して授業を企画・実施します。

たとえば…



登場人物の気持ちを考えよう



〈国語・道徳〉先生と俳優が協働し、演劇的手法を取り入れたワークショップや、「なってみる」遊びを通して物語文を読み解いていきます。登場人物の心情や物語の背景を想像し、理解を深めることにつながります。



伝統文化を楽しもう



〈国語・総合・音楽〉台詞を声に出してみる、特有の歩き方や所作等を真似てみる、楽器を演奏してみるなど、アーティストと共に身体を動かすことで分かる発見があり、楽しみながら伝統文化を学ぶことができます。



いろいろな音色を感じ取ろう



〈音楽〉演奏家が奏でる音楽を間近に聴くことで、楽器それぞれの音色の違いがアンサンブルにどのように活かされているのかを実感したり、ひとりの演奏家ももつ多彩な音色を味わったりすることができます。

先生方の「こんなことしてみたい」というご希望や、ご相談に基づいてアーティストを派遣します。先生方の楽しいアイデアをお待ちしております!



こどもの声



登場人物が、いろんな気持ちをまぜ合わせていることがよく分かった。(国語) / 歩くだけでも、姿勢や足の動かし方など、さまざまな工夫が必要だった。(伝統芸能) / 音がどんどん積み重なるのを感じた。(音楽)

先生の声



授業でやってきたことを更に深めて学べる機会となった。(国語) / 実際に触れてみて初めて、「喜劇」なのだという実感が湧いたようだ。(伝統芸能) / 想像以上にそれぞれの音の違いがあったことに驚いたようだ。(音楽)